

様式第 9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
橿原市	橿原市	平成 2 8 ～令和 2 年度	平成 2 8 ～令和 2 年度

1 目標の達成状況

(生活排水処理)

指 標		現 状 (平成 2 6 年度)	目 標 (令和 3 年度) A	実 績 (令和 3 年度) B	実績B /目標A
総人口		1 2 4, 4 8 9	1 2 0, 0 0 3	1 2 1, 1 5 6	—
公共下水道	汚水衛生処理人口 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	8 0, 1 8 4 6 4. 4 %	8 3, 2 5 9 6 9. 4 %	8 6, 3 7 8 7 1. 3 %	1 0 4 % 1 0 3 %
集落排水施設等	汚水衛生処理人口 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	0 0. 0 %	0 0. 0 %	0 0. 0 %	— % — %
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	1 3, 2 9 5 1 0. 7 %	1 2, 7 5 4 1 0. 6 %	1 3, 6 8 6 1 1. 3 %	1 0 7 % 1 0 7 %
未処理人口	汚水衛生未処理人口	3 1, 0 1 0	2 3, 9 9 0	2 1, 0 9 2	8 8 %

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制 再使用の 推進に関 するもの		使用済み食用油の 回収	橿原市	市役所本庁舎で回収。 それ以外に、地域の公民館等 (15箇所)で2ヶ月に1回 回収している。	平成28～ 令和2年度	平成28年度：8,370L 平成29年度：8,370L 平成30年度：7,082L 令和元年度：6,819L 令和2年度：7,850L 計38,491Lの食用油を回 収した。
処理施設 の整備 に関する もの		浄化槽設置整備事業	橿原市	下水道事業計画区域外で一般 家庭用住居に10人槽以下の 浄化槽を設置するものに補助 を行う。	平成28～ 令和2年度	5人槽：54基 7人槽：52基 10人槽：7基 計113基に対して補助を実 施。
その他		生活排水対策 啓発事業	橿原市	河川汚濁原因の大部分が家庭 からの排出される生活排水で あることから、家庭で出来る取 り組みを行い、環境保全意識の 向上を促す。	平成28～ 令和2年度	・駅前等での街頭キャンペーン やイベント出展 ・小学4年生を対象とした出前 講座の実施

3 目標の達成状況に関する評価

生活排水処理においては、計画では5年間で117基（457人分）の合併処理浄化槽の整備を目標にしたが、実績は113基の整備となり、目標にはわずかに及ばなかった。しかし、公共下水道および合併処理浄化槽等污水衛生処理人口については平成26年度より増加しており、目標を上回ったことから、相対的には目標を達成したものと考えている。

今後についても、下水道事業計画区域外を対象に、循環型社会形成推進交付金を活用した浄化槽設置整備事業を進め、公共用水域の水質良化及び市全域における生活環境の改善に努める。

また、生活排水対策の推進施策である使用済み食用油の回収については、5年間で38,491Lの回収実績であった。食用油そのものが河川水質汚濁の最大の原因であり、地域住民の水質保全意識の高揚を図る有効な手段であるので、今後もより一層推進していく。

（都道府県知事の所見）

公共下水道及び合併浄化槽等の整備は着実に進んでおり、それぞれの污水衛生処理人口は平成26年よりも増加した。その結果として、污水衛生未処理人口を著しく減少させることができた。

また、使用済み食用油の回収等の生活排水対策の推進にも積極的に取り組んでおり、浄化槽設置整備事業と合わせて、公共用水域の水質保全・改善を進めていくことを期待する。